

堺本枕草子の研究

— 目次 —

凡 例 … ix

序 章 堺本枕草子の再検討——「再構成本」という視点——

- 一 はじめに … 1
- 二 随想群検討の重要性 … 3
- 三 「類纂本」から「再構成本」へ … 4

第Ⅰ部 堺本の本文と編纂の方法

第一章 複合体としての随想群とその展開性——暦日順随想群を中心に——

- 一 はじめに … 9
- 二 『枕草子』諸本の系統分類と「類纂」という名称 … 9
- 三 堺本随想群の編纂方法 … 12
- 四 堺本随想群の複合性 … 21
- 五 おわりに … 24

第二章 項目の流動と表現の差異——『枕草子』諸本間の比較から——

- 一 はじめに … 27
- 二 堺本と他系統本間における項目流動の様相 … 28

（１）	堺本のある項目が、他系統本では異なる章段に含まれるもの	… 29
（２）	堺本の複数の項目が、他系統本ではひとつの章段に含まれるもの	… 54
（３）	堺本のある項目が、他系統本では複数の箇所に分けられるもの	… 84
（４）	他系統本の日記的な記事が、堺本にはない、もしくは分散しているもの	… 94
三	『枕草子』なるものからの距離感	… 101
四	おわりに	… 105

第三章 編纂の特性と構成力

一	はじめに	… 109
二	「たとしへなきもの」関連記事の編纂方法	… 110
三	宣孝御嶽参詣説話の位置付け	… 115
四	おわりに	… 121

第四章 類似記事の重出現象と編纂の指向性——『枕草子』諸本間の比較から——

一	はじめに	… 125
二	前田家本「心にくきもの」の段と 「にげなきもの」の段における同一・類似記事の重出	… 126
三	三卷本・能因本における同一・類似記事の重出	… 132

四	前田家本における同一・類似記事の重出——前田家本の編纂姿勢——	… 139
五	堺本の類似記事——堺本の編纂姿勢——	… 161
六	おわりに	… 165

第Ⅱ部 堺本の本文と生成・享受

第五章 男性に関する随想群の編纂と表現

一	はじめに	… 171
二	「成信の中将は」の段からの抽出	… 171
三	男性に関する随想群とその表現	… 176
四	堺本に描かれる「婿」	… 183
五	おわりに	… 186

第六章 「女」と「宮仕へ」に関する記事の編纂と表現

一	はじめに	… 189
二	堺本「女は」の段の検討	… 190
三	『枕草子』に描かれた「宮仕へ」をめぐって	… 195
四	堺本と批評的行為	… 200
五	おわりに	… 202

第七章 堺本・前田家本における『白氏文集』受容——堺本の随想群と『和漢朗詠集』——

- 一 はじめに …… 205
- 二 堺本随想群の特徴と『和漢朗詠集』 …… 206
- 三 前田家本二〇六段における白詩引用 …… 211
- 四 堺本二〇〇段における漢詩文引用の可能性 …… 214
- 五 日本における受容 …… 217
- 六 おわりに …… 220

第八章 〈雪月夜〉と〈車〉の景の再構成

- 「十二月十日よひの月いと明かきに」の段と一連の随想群をめぐって——
- 一 はじめに …… 225
- 二 「十二月十日よひの月いと明かきに」の段周辺の構成 …… 225
- 三 「白」の風景への統一性 …… 232
- 四 「年老い」た女の登場 …… 235
- 五 おわりに …… 238

第九章 堺本宸翰本系統の本文とその受容——前田家本との本文異同をめぐって——

- 一 はじめに …… 241
- 二 堺本の伝本と本文系統の分類 …… 243
- 三 堺本文と前田家本文の比較・検討 …… 247
 - ①前田家本・堺本Ⅰ類・堺本Ⅱ類が一致する例 …… 253
 - ②前田家本・堺本Ⅰ類が一致する例 …… 273
 - ③前田家本・堺本Ⅱ類が一致する例 …… 275
 - ④前田家本・堺本Ⅲ類が一致する例 …… 277
 - ⑤前田家本・堺本Ⅲ類・堺本Ⅱ類が一致する例 …… 317
 - ⑥前田家本・堺本Ⅲ類・堺本Ⅰ類が一致する例 …… 346
 - ⑦前田家本が堺本とは異なる本文をもつ例 …… 354
- 四 本文異同の傾向 …… 396
- 五 現存宸翰本と林白水所持本 …… 400
- 六 おわりに …… 403

第十章 堺本の本文系統とその分類

- 一 はじめに …… 405
- 二 堺本の本文分類に関する先行研究 …… 406
- 三 諸本の本文比較——山井本・龍門本・河甲本・朽木本・鈴鹿本・無窮会本を対象に—— …… 409

四	無窮会本について	…	418
五	朽木本・鈴鹿本の性格について	…	419
六	おわりに	…	422

第十一章 堺本の成立と生成・享受

一	はじめに	…	427
二	先行研究と成立論	…	427
三	堺本の成立と日記的章段の問題	…	432
四	『枕草子』の享受と堺本	…	435
五	おわりに	…	436

終章 まとめと展望

あとがき	…	445
引用文献一覧	…	449
索引凡例	…	459
I 事項・人名・書名等索引	…	459
II 『枕草子』章段索引	…	462

凡例

一 『枕草子』の本文引用および章段番号は基本的に次のものに拠り、第九章を除いて、適宜漢字を当て、歴史的仮名遣いに改め、句読点、濁点、鍵括弧等を施した。また、読みやすいように送り仮名を適宜補い、「給」「侍」等を仮名書きにし、異体字等を通行の字体に改めた。本文に異同のある場合、あるいは明らかに意味不通の場合は、他の伝本を参照して私に校訂している箇所もある。

- ・堺本…林和比古編著『堺本枕草子本文集成』（私家版、一九八八年）の吉田本本文に拠る。影印版（吉田幸一編『堺本枕草子 斑山文庫本』古典文庫、一九九六年）も参照している。
- ・三卷本…杉山重行編著『三卷本枕草子本文集成』（笠間書院、一九九九年）に拠る。底本は陽明文庫本（甲本）、初段～七六段は岸上慎二氏蔵室町末期書写本（中邨本）。
- ・能因本…田中重太郎編著『校本枕冊子』（古典文庫、一九五三年（上巻）・一九五六年（下巻））に拠る。底本は学習院大学蔵三条西家旧蔵本。

・前田家本…田中重太郎編著『校本枕冊子』（古典文庫、一九五三年（上巻）・一九五六年（下巻））に拠る。ただし、章段番号は田中重太郎校註『前田家本枕冊子新註』（古典文庫、一九五一年）に拠る。

一 『枕草子』以外の作品を引用する際には、各章の末尾に引用元を明記した。

一 論中で研究論文等を引用する際には、たとえば「池田「二九三三」のように記し、449ページからの引用文献一覧に一括して、論文名（書名）、掲載誌名、発行者名等を明記した。

